

甲府市のコロナ感染症の予防について

甲府市議会本会議 山田厚質問

1 国のコロナ感染症予防対策の対し、

甲府市の自治体としての見解を求める

国の新型コロナ感染症対策は、極めて問題が多く、誤りもあったといえます。巨額な費用をかけても様々に意味のない政策や不思議な委託で膨大な事務費が支出されたこと、専門家会議の会議録がどうなったかわからないことなどなど・・・これらの事件性があることを全てのぞいても、公衆衛生上の予防や感染者治療体制においても、著しい遅れや、誤りがあったと思えます。

そこで、甲府市・甲府市長に伺います

- ・ 国内でも発症が始まった1月から現在までの 防疫・公衆衛生上の遅れをどう見ますか？ そもそも遅れざるを得ない 医療・公衆衛生・防疫の状態・環境があったのか、どうなのか
- ・ 諸外国に比べてPCR検査数の少なさと、甲府市としては、これから全力で改善すべきと考えますが、そもそも日本の検査の遅れをどうみておられるますか？
- ・ また、病床の確保が遅れ「自宅療養」が大都市圏で多くなっています。このような事態を甲府市でもむかえた場合、これを「自宅療養」とするのか？ 「なんとか病床を確保すべき」なのか、甲府市の見解をお聞きます。

2 甲府市の感染症防止対策としての 医療・介護対策はどうされてきたのか？

私は、今回の感染症対策においては、初めから経済対策優先の政策ばかりで、感染症防止・公衆衛生上の取組みが極めて遅れていたと思います。

- ・ 自治体である甲府市は、医療、介護などの福祉施設及びそのエッセンシャルワーカーに対するの援助は、「敬意と感謝」の言葉だけでなく、具体的に必要な物資や財政的援助を、どのようにしてきましたか？
- ・ 感染症の防疫で大切なことは、市民に対して「自粛」「三密回避」の自己責任を求めるだけではありません。公的な責任として医療・感染症防止を取り組

んできたことをお示してください。

- ・甲府市では「PCR検査のさらなる強化」とする内容がこの9月議会で明らかにされています。どのような方法で、どのような検査数の規模で、いつからはじめられますか？おききします。

3 小中学校のICT教育がすすめられているが、子どもの学力と心身健康確保の対策を

小中学校のICT教育が、コロナ感染症対策として巨額な費用をかけ一人一台タブレットパソコンや校内無線LAN、オンライン授業などとして一気に進められています。これ歯メリット大宣伝の「新しい教育」「新しい学校」とされています。

しかし大きな転換となる「新しい」やり方には、いかなる場合にもデメリットもあることを忘れてはなりません。

- ・対面の教育がなおざりにされ、子どもの学力が家庭環境で学力格差が広がります。また、国内外では「情報機器ICTでは知力が育たない」との報告が幾つもあります。また教育現場にもいきなりの対応となり、過重労働となります。そのことをどう受け止めておられますか？
- ・子どもの心身の健康確保の対策も重要です。すでに子どもの目や聴力は、スマホなどの使いすぎで、今までになく不調です。また電磁波による健康障害も強まることにもなります。

「新しい」やり方では、今までの学校環境基準では対応できません。

せめて文部科学省の『児童生徒の健康に留意してICTを活用するガイドブック』は参考にして環境を整えるべきです。

- ・またタブレットなどの学校と家庭での使用時間制限などの規準を、甲府市独自でも設定すべきです。この場合、働く人の厚生労働省の「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン」も参考にすべきと思われます。
- 以上、いかががお考えでしょうかおききします

4 働く者生活といのちを守る甲府市を

感染防止対策のメリット強調で「あたらしい働き方」としてオンライン・デジタル

化が、むやみに強調され、「在宅勤務」などが一気に進んでいます。

- ・この働き方が本格的になるとデメリットが働く側に強くあらわれます。「自分の家庭

の時間と仕事の区別がつかなくなる」「仕事に必要な機器やシステム使用料が自己負担になる」「光熱水費も自分持ち」「一方的な請負の仕事となり、評価もキツイ」などの実態もすでに表れています。甲府市では特に「在宅勤務」やり方に慎重であるべきです。

- ・職場では「新しい働き方」や感染症における様々な労働問題が発生する可能性がかなりあります。甲府市は、感染症の労災・公務災害補償も含めて相談体制や市が発行している「働く者のサポートガイド」充実を図っていただきたい。
- ・まずは、市職員の健康と安全確保です。そのための人手の確保を求めます。不況とか災害があると一番忙しくするのが市町村職場です。しっかりした感染症予防ためにも長時間過重労働の防止のためにも人手です。いかがお考えでしょうか。

5 コロナ感染症以外の様々な病気などの健康管理と予防はどうなっているのか？ 市民のいのちを守る自治体の政治を

- ・コロナ感染症対策としての「自粛」ばかりが求められ、様々な病気全体としての健康予防と管理はどうなっているのでしょうか、受診抑制が当たり前とされたり、職場や地域の健康診断が「自粛」では、よくありません。甲府市の職場や地域の各種健康診断実施の状況はどうなっていますか。
 - ・各種健康相談の実施状況はどうでしょうか。
 - ・特に子どもの各種予防接種の未実施や遅れは良くありません。実施状況はどうでしょうか。未実施や接種回数の遅れの傾向があるなら、それに対する対応を早急に行うべきですが、いかかでしょうか。
- 健康都市宣言の自治体として、掛け声だけでなく実態がともなう「市民のいのちを最優先する甲府市を強く求めていきます。

※これは発言原稿です。再質問と答弁は載せていません。詳しくは甲府市議会のホームページをご覧ください・この時のパネルは山田のホームページをご覧ください。